

みかい

安住院便り
(第45号)

令和2年8月1日発行

〒703-8236
岡山市中区国富3丁目1-29
住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

祈りと願い

今年の二月頃より、全世界で猛威を振るっている、新型コロナウイルスによる病魔の蔓延は、まだまだ予断を許さない状況です。

新しい生活様式を考えるにも、目に見えないものへの恐怖は、多くの方が感じているはず

です。早く、治療薬とワクチンの開発が望まれ、医療関係従事者の方々への感謝と期待は、増すばかりです。

宗教界でも、各地で疫病厄除の法会が行われ、当院でも副住職が護摩供養にて祈念しています。

やはり、病気を治して下さるのはお医者さんですが、心の不安を取り除くことも必要なことです。特に多くの人との接触を避けるような現状では、話す相手も居ない方も多く、余計に心が乱れる原因になるのです。是非、何処でも構いませんので、近くの寺院のお参りして、心を静めて下さればと思います。



災害や病魔は、突然襲ってくるもので、個人の力では、どうすることも出来ないと感じます。「心の豊かさ」や、「少欲知足」を思っても、日々の生活に追われ、なかなか現実として理解し難いものです。しかし、ここ数年の世界を見るに、もっと真剣に考えなければなりません。

とても不幸な事態が地球を駆け巡る現代に、平和な世界を祈ったり願ったりするだけでは、本当は解決できない事に気づきません。それでも、一人ひとり何かを実行して行かなければなりません。

真言宗では、お大師様は、この世を仏の国にしなければならぬと、おっしゃられました。そのためにも、皆が仏になって生きるよう努力するのです。心を穏やかにし、ご先祖を想い、他のものに迷惑を掛けない、

仏様ならどうするかを考えることが重要なのです。世界の平和を、仏として祈り、仏として願いたいものです。

合掌



送り火法会のご案内

来る八月十五日（土曜）

午後四時より

安住院本堂前の境内にて、檀信徒の皆様の先祖供養精霊送りを行います。

今年も、例年行われていた西川での、岡山市仏教会主催灯籠流しが中止になりましたので、当院にて供養法会を行います。

大涅槃図修復

【安住院什物 紹介】



不定期ですが、安住院の什物を順次紹介致します。

兄は3歳、弟は1歳になりました。



前回の、両界曼荼羅と同じく昨年修復を終え、拝むことが可能になりました。

涅槃（ねはん）図は、仏教を始められたお釈迦様が亡くなられた時に、お弟子さんだけではなく、様々な動物や虫たちが集まって、お釈迦さんを偲んだことが由来となったものです。仏教の、生きていく者全てを救う教えが、表現されています。

当院のものは、室町時代の作と伝えられ、本堂にしか掛けられない大きな仏画です。

敬明和尚三十三回忌法会

本年六月八日、瓶井山安住院・第九十四世・敬明和尚の三十三回忌追善法会を修行致しました。

ウィルス予防対策でいろいろと配慮しましたが、岡山市内結衆及び法縁の寺院、総代の方々と一緒に、本堂にて無事法会を厳修することができました。



先代は、大勢で楽しむことがとても大好きでしたが、これも時代の流れと、我慢していただきました。

二十五回忌では、副住職の入山を報告し、今回は、その次の新しい世代が誕生したことを、報告できました。住職として、安住院を護持出来る喜びを感じています。

昨今の状況で、団参を中止していますが、是非再開したいと考えています。予定が決まり次第ご案内しますので、宜しくお願い致します。

